



## 藤の花再生プロジェクト始動 ～目指せ1メートルの藤の花～

みなさんは、西区に「藤棚」と言う地名があるのはご存知ですか？

その昔、商店街の入口にあった和菓子屋の軒先に、見事な藤の棚があったことが由来だと言われていて、市電の停留所の名称にもなり、町名の改正の時に「藤棚町」と言う地名になったそうです。

この藤棚は震災で焼失してしまいましたが、その後有志の力で新たな藤の棚が復元されました。藤棚の地名があるように、西区内には8つの公園に藤の棚が設置されています。

2008年には、右の写真のようにきれいな花を咲かせていたのですが、ここ数年は、なかなか思うように花が咲いてくれず、残念な藤棚です。

そこで昨年、「藤の花再生プロジェクト」を立ち上げ、年間を通じて藤の生育状況を確認し、花後の管理や、剪定などの維持管理方法を学び、花一面の藤棚を目指す取り組みをはじめました。

6月23日（火）には浜松町公園で、藤棚のある地域の施設スタッフなども参加し、「夏季作業講習会」を実施しました。



浜松町公園の藤棚



伸びきったつるを根元から30センチくらいのところまで切る。



参加したスタッフも、職員の作業を真剣に見学し、メモを取ります。



蟻などの食害がひどいので、根元にはウレタン、幹の部分はカルスメイトやトップジンペーストなどで主幹を保護する。  
最後に目的に合った肥料を与える



藤棚に昇り、上に長く伸びた厚みのある部分も切る。



下から見てもすき間が見え、光が当たるようになりました。



ビフォー → アフター  
伸びて絡まったつるや、厚みのある部分を切ったことですっきりとした仕上がりになりました。

講習会では、専門家が作業のレクチャーを受け、花後の剪定やつる切りの見本、幹の補修等、夏季作業のポイントを学びました。最後は施肥を行い次回は冬の剪定作業へと進みます。

残りの7公園の藤棚も、来年の春には、今年よりもたくさんの花を咲かせてくれるようにと願って作業していきます。8つの公園すべての藤棚を再生するには、少し時間がかかるかもしれませんが、これから少しずつ取り組みを紹介していきますので、楽しみにしてください。



# こころを和ます公園時間 ～色鮮やかな紫陽花たち～



6月の花と言ってまず一番に思い浮かぶのが「紫陽花」ではないでしょうか？

鎌倉の名所などに行くのもいいけれど、身近な公園でもきれいな紫陽花を見ることが出来ます！

植栽部分に並ぶ色とりどりの紫陽花や、愛護会が植え付けし立派に成長した紫陽花など、色も大きさも様々で、雨に濡れた日の花は、また違った雰囲気を楽しめるのが紫陽花の特徴だと思います。

見頃は過ぎてしまうかもしれませんが、きっとまだまだ楽しめるはずですので、ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか！私は「ハートの形」の紫陽花を見つけて、幸せ気分を味わっています。♡



追分公園



伊勢町もくせい公園



浅間下公園



西戸部町三丁目さくら公園



掃部山公園



藤棚町二丁目公園



宮ヶ谷第二公園



境之谷公園



# 新しい花壇が出来ました❀

～花がみんなをお出迎え～



この度、土木事務所の駐車場の奥に、新しく横幅10mほどの大きな花壇が完成しました。👏👏

隣の施設との間に新しく壁を作り、その下の部分を利用した花壇です。

梅雨入り後しばらく暑い日が続き、整備班も大変な作業になりましたが、権太坂にある「環境活動支援センター」で栽培した花苗を譲っていただき植え付けると、なかなか立派な花壇になりました。

愛護会のみなさまにも見ていただきたいです。

今後は季節で花苗の植え替えや、種から花を育てるなど、いろいろとチャレンジしていきたいと思っています。

そして、壁面には緑化対策としてゴーヤの苗も植えました。今年は、事務所の2階の窓にもはわせることにして大量収穫を目指します。

